

研修資料の紹介と活用方法について

島根県教育センター浜田教育センター 研究・研修スタッフ

当教育センターは、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年中央教育審議会答申)で示された「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」(以下、本テーマ)の、各学校での実現に向けた提案を目的として、共同研究に取り組みました。

今回送付した研修資料は、本テーマについて、校内研修等で共通理解を図ったり実践したりするためのきっかけになればと考え、作成したものです。学校教育目標等の実現に向け、ご活用いただければ幸いです。

なお、本研修資料は学校での利活用を想定し、短時間で概要をつかんだり、取組のためのヒントを提示したりするものです。本テーマの内容を全て内包するものではないことをお含み置きいただければと思います。

以下に、各研修資料の役割と活用事例等について簡単に紹介しております。ぜひ参考にさせていただき、各学校の実態に応じて新しい活用方法等も取り入れながら、様々にご活用いただければ幸いです。

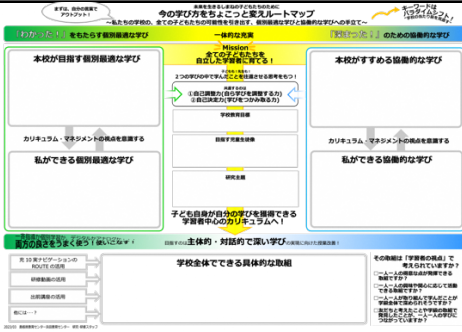
※各資料は、二次元バーコードまたはURLから、ダウンロード可能です。

【URL】 <https://x.gd/O3dHE>



<p>【1】今の学びをちょこっと変えルートマップ</p>	<p>▼「個別最適な学び」と「協働的な学び」、それらの「一体的な充実」の実現に向けて、基本的な理解と大切にしたいキーワード、めざす子どもたちの姿をイメージできるように作成したものです。</p> <p>▼また、本テーマの実現に向けて、学校や教職員が学校の教育課程や授業を振り返る際の手がかりとして、今の学びを見直すための10のヒントとして、充(10)実ナビゲーション示しています。</p>
<p>活用事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本マップを校内で読み合わせたり、気づきを交流し合ったりする。 ・動画「全体を知ろう編」で概略等をつかんだ後、学びを整理したり再確認したりする。 ・動画「手がかりをつかもう編」を視聴し本マップの見方を理解し、今後取組を考える上での見通しをもつ。 ・本マップを手がかりに授業計画を立てたり、授業の振り返りや見直しを行ったりする。 ・充(10)実ナビゲーションを基に、学校や学級の強みや課題を把握する際に活用する。 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>【備考】 【5】で紹介する、R4共同研究動画「手がかりをつかもう編」で、本ルートマップの見方を紹介していますので、ご活用ください。</p>	

【2】ルートマップ裏面_ワークシート



▼「個別最適な学び」「協働的な学び」「それらの一体的な充実」のカタチは、各校の実態によって試行錯誤を重ねながら創り上げていくものであり、まさに答えのない課題です。本校の学校教育目標、目指す児童生徒像、研究主題などを中心に据え、学校全体や個々の担当分掌や役割等における取組を考えるためのワークシートです。

活
用
例

- ・ 本校が目指す「個別最適な学び」「協働的な学び」や学校全体でできる具体的な取組について、校内研修や研究部会等で意見を出し合い検討する。
- ・ 本校が目指す姿や学校でできる具体的な取組等をもとに、教職員一人一人が、担当分掌や役割等に応じて「私ができる～」を考える。
- ・ 個々が考えた「私にできる～」から、「本校が目指す～」や「学校全体でできる具体的な取組」を考える。

【備考】 ワークシートは、Word形式でのダウンロードが可能で、必要事項をあらかじめ打ち込んだものを印刷し、校内研修等で活用することも可能です。

【3】10のROUTE（ちょっと変えるための10のヒント）



▼教育課程の編成や授業改善の手がかりとして示した充(10)実ナビゲーション（10のヒント）の1枚1枚について、より詳しく理解し、具体的取組を考えるための資料として作成しました。

▼「意味」を理解し、「必要性」を感じ、「具体的」にどう取り組むか、「本テーマとの関連」等を考えることのできる構成になっています。

活
用
例

- ・ 本校や自分の興味関心や実態に合わせたものを参考に、教育課程の編成や授業改善について考える。
- ・ 本校の強みや課題をもとに、本校で取り組みたいROUTEを選択し、より詳しく学んだり、学校や学級での具体的な取組について考えたりする。
- ・ 1つ1つのROUTEについて、15分程度のミニ校内研修で取組について理解を深めたり振り返ったりする。
- ・ 10のカードの中から各グループが1枚を選択し、考えたことや本校でできそうな取組等を発表し合う。

【備考】 更に詳しく学ぶための出典や参考文献等も、二次元バーコードで紹介していますのでご利用ください。

【4】R3 共同研究動画_「全体を知ろう編」(15分06秒)



▼本テーマの概要を整理し、基礎的な内容や捉えを学ぶことのできる動画になっています。

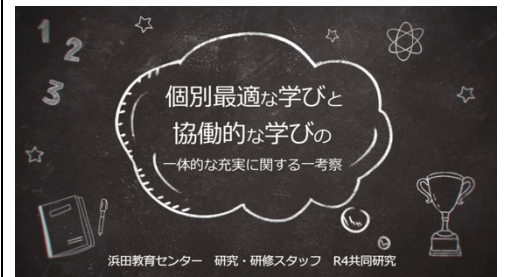
- ①本テーマが求められるようになった社会的背景
- ②本テーマについての文献等に基づく整理・解説
- ③県内の先進的な取組の紹介 等

▼まず、一步を踏み出す際にご活用いただける内容になっています。

活用例

- ・まず、本テーマについて自分の知っていることを書き出し後、動画を視聴する。その後、自分で学びを整理したり、グループで意見交流したりしながら理解を深める。
- ・動画を視聴したあと、自校や個々の授業を振り返り、今できていることや新たに取入れたいことなどを考える。 など

【5】R4 共同研究動画_「手がかりをつかもう編」(13分52秒)



▼2年間の研究成果をもとに、「ルートマップ」「充(10)実ナビゲーション」の作成意図や見方、活用方法等を動画で解説しています。同時に、「本テーマの要点を確認したい」「授業イメージを描きたい」「自校の実態に応じたおすすめROUTEを知りたい」などのニーズにお応えする内容になっています。

活用例

- ・学校教育目標等の実現に向けた自校の強みや課題を共有した上で、自校に必要な取組を考える際に視聴する。
- ・「個別最適な学び」「協働的な学び」の要点を再確認するために視聴する。
- ・本研究の成果物を、より効果的に活用するために動画を視聴する。など

【6】出前講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～

出前講座 (浜田教育センター)

Well-Beingな生き方を目指して
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～

1. はじめに
2. 個別最適な学び...とは?
3. 先進校の実践例から
4. 対象校での取組
5. おわりに

▼教育センターの研究内容を踏まえ、「個別最適な学び」「協働的な学び」それらの「一体的な充実」について、組織として同じ目線で捉え、自分たちの学校で何ができるのかを考えていきます。

事前の打ち合わせを電話やオンライン等で行うことも可能です。お気軽にお申し込みください。

【7】R3、R4 年度 研究紀要 (浜田教育センター研究・研修スタッフ)

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する一考察 (2年次)

浜田教育センター 研究・研修スタッフ 共同研究

【要旨】
本研究は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する一考察として、全ての子どもたちの成長を促す、個別最適な学び、協働的な学び、一体的な充実の推進を図ることを目的とし、2022年度から2023年度にかけて、県内の先進校での実践事例を調査し、その実践の背景や課題を整理し、本テーマの推進に向けた実践のあり方を整理し、実践の改善に向けた取組を提案する。また、実践の背景や課題を整理し、本テーマの推進に向けた実践のあり方を整理し、実践の改善に向けた取組を提案する。また、実践の背景や課題を整理し、本テーマの推進に向けた実践のあり方を整理し、実践の改善に向けた取組を提案する。

▼1年次(R3年)は、文献や先進校の取組を基に、社会的背景や本テーマの概要の整理、先進校での取組等をまとめています。2年次(R4年)は、学校での本テーマの実現のために作成した各種資料の解説や修正・改善の意図等についてまとめています。